

つちおと

平成30年11月30日発行
宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣3-5
気仙沼市シルバー人材センター内

10/26^金

塚田復興副大臣が 気仙沼市・南三陸町を訪問

10月26日、塚田一郎・復興副大臣が気仙沼市と南三陸町を訪問しました。気仙沼市では中央公民館屋上から復興状況を確認し、南三陸町ではさんさん商店街及び復興祈念公園予定地を視察しました。

さんさん商店街



気仙沼中央公民館にて復興状況の説明を受ける副大臣



南三陸町復興祈念公園予定地にて進捗状況を確認

11/15^土

『迎（ムカエル）』グランドオープン!! ～ にぎわいを呼び込む～

11月15日、気仙沼市南町海岸地区商業施設「迎」がグランドオープンしました。同施設は、内湾地区のにぎわいを取り戻すことを狙いとする内湾スローフード構想の先駆けとして、株式会社気仙沼地域開発により復興交付金事業などを活用し建てられました。今後、ほかの商業施設の整備なども予定されており、地域商業の活性化が期待されます。



海側から見た『迎』



11/9^金

復興拠点連絡道路志中大橋開通！

～ 生活をつなぐネットワーク ～



11月9日、南三陸町志中大橋が開通しました。これにより、高台住宅団地の相互連絡、住宅地と各種公共施設の連絡、低地部から高台への避難経路や国道45号と国道398号への円滑な交通が期待できます。これら道路の開通により、内陸部からの交通渋滞が緩和されるだけでなく、歩道が整備されたことで安全・利便性の向上による生活環境の改善が



期待されます。今後は旭ヶ丘団地、西団地への接続道路、交差点の整備が行われる予定です。

11/10^土

鹿折ふれあいセンター開館！！

～ 地域の中核、公民館 ～

11月10日、気仙沼市鹿折地区復興土地区画整理事業内で公民館を含む交流施設「気仙沼市鹿折ふれあいセンター」の開館式が行われました。震災前、市総合福祉センター内にあった公民館は、震災の津波で全壊しましたが、復興交付金約3億6千万円を活用し新しく建てられました。施設は鉄骨平屋建て延べ床面積約998㎡で、体育館、研修室、会議室、調理実習室やラウンジなどを備えており、地域住民の交流拠点として大いに活用されることが期待されます。

県指定無形民俗文化財の伝統芸能「浪板虎舞（なみいたとらまい）」を披露する地区の皆様

気仙沼市鹿折ふれあいセンター開館式



11/22^土

気仙沼向洋高校新校舎落成記念式典開催！！

～ 未来の担い手を育む学び舎 ～

11月22日、震災で旧校舎が被災した気仙沼向洋高校の新校舎落成記念式典が開催されました。式典には全校生徒や教職員のほか、震災からこれまでの支援者を含め約630人が出席されました。生徒は2学期から新校舎を利用しています。



～ 進む震災復興【都市計画道路 魚市場中谷地線、気仙沼大橋】～

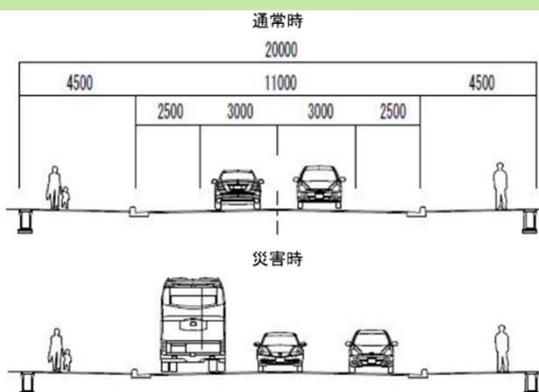
都市計画道路魚市場中谷地線は、気仙沼市の基幹産業である水産業の重要な役割を担う魚市場や観光施設【海の市】と国道45号との連絡軸となる重要な幹線道路です。

東日本大震災においては、魚市場周辺や幸町地区、内の脇地区などから国道45号方面に避難する車両に加えて、道路上に停車する車両により大渋滞が発生しました。この教訓を活かし、災害に強いまちづくりを目指すため、道路幅員を12mから20mに拡幅し、道路法線を直線化したルートが計画されました。

通常時の幹線道路としての役割に加え、災害時における避難道路としての役割も担っていることから、停車車両があっても、避難車両が通行できる構造となっております。



通常時の幹線道路としての役割に加え、災害時における避難道路としての役割も担っていることから、停車車両があっても、避難車両が通行できる構造となっております。事業は、気仙沼市がUR都市機構と業務委託契約を締結し進められております。事業費は約53億円で、復興交付金が活用されております。工事は、平成25年3月に着手され、気仙沼大橋(新橋)の桁架設は終了しております。現在は床版工事等が行われており、平成31年3月の新橋供用を目指し、今後舗装が施工される予定です。新橋供用後の平成31年度以降は、道路の拡幅工事や旧橋撤去を行い、平成32年度内での事業完成を目指し事業が進められます。



苦労した点等を気仙沼市都市計画課にお聞きしました。

『気仙沼大橋が架かる大川は、鮭や鮎の遡上・放流があることから漁業協同組合などの関係者に対し工事状況の説明を行い、シルトフェンスを設置し土砂等が河川に流入しないよう工事を進めました。道路拡幅部においては、既成市街地であることから、関係者・住民・地権者説明を丁寧に行い進めました。また、近接して行われている大川河川堤防工事との調整や魚市場につながる主要幹線であることから、朝夕のピーク時における一般車両の安全確保に苦労しました。』とのお話を頂きました。

11/11^①気仙沼大橋
現地見学会開催

11月11日、気仙沼大橋の現地見学会が行われました。見学会では舗装前の橋路面に子供たちがチョークで思い思いに絵を描き、最後はみんなで絵が描かれた橋と一緒にドローンによる記念写真を撮りました。



◆支所長コラム

11月になり冬の気配が近々と感じられるようになりました。今年の夏は暑かったのですが、寒い冬になるのかなあと心配しておりますが、札幌の初雪は11月20日と統計開始以来もっとも遅く、青森、秋田、山形の初雪も平年より1～2週間程度遅れているようです。このまま暖かい冬になってくれることを願います。

一方、「気象庁が警報を出すレベルの大雪の際、立ち往生が懸念される高速道路や国道の区間でタイヤチェーン(の装着)を義務づける。との方針を、今月15日国交省が示した。」との報道がなされております。近年頻発する大規模な立ち往生を踏まえての対応かと思えます。皆様も冬季の車の運転にはくれぐれもご注意下さい。(吉)

11/3[㊥]

復興祈念公園(陣山)事業説明会開催 ～ 追悼、伝承、そして再生へ～

11月3日、気仙沼市が復興交付金約3億3千万円等を活用し陣山に建設を計画している復興祈念公園に関し、現地見学会と事業説明会が開催され、約60名の市民が参加しました。現地を訪れた参加者からは、「気仙沼湾や進む復興の状況を望めるいい場所だ。親しみの持てる公園をつくってほしい」との感想が聞かれました。



復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【12月8日(土)～1月14日(月)】 One-Line★ ～気仙沼クリスマスイルミネーションプロジェクト～

震災で光を失った町に暖かい光を灯したい！という地元有志の想いから、2012年に始まったこのイベントは、内湾地区や田中前大通りを中心にクリスマスの時期にイルミネーションの暖かい光が灯されます。

12/8(土)のオープニングイベントでは、有名アーティストによるチャリティーライブもおこなわれる予定です。
One-Line実行委員会 <http://kesenuma-christmas.com/>

【12月23日(日)】 歌津あわび祭り ～南三陸町～

南三陸ハマレ歌津で開催される同イベントは、東日本大震災後、天皇皇后両陛下が最初に訪問したのが南三陸町歌津ということで、両陛下訪問の感謝と記念の意味を込め、天皇誕生日の12/23に最高級の活あわびを販売いたします。

開催時間:午前10時～午後2時



気仙沼大島大橋 (本土側より)



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

復興庁HP (<http://www.reconstruction.go.jp/>) ⇒ **宮城復興局** ⇒ **気仙沼支所** だより「つちおと」

【編集後記】

◆朝、白くなっている車体を見て何が起こったかと驚きました。

「つちおと」発行元(お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301、FAX 0226-23-5310